国際バカロレア（IB）教育 導入支援

文部科学省

生徒が変わる。学校が変わる。地域が変わる。
文部科学省IB教育推進コンソーシアム



コンソーシアム事務局では、日本国内における国際バカロレア教育の普及促進等を目的に、2018年に設立されました。
導入支援、各種イベントやウェブサイト等を通じた情報発信など、IB教育の認知・理解促進に幅広く取り組んでいます。

国際バカロレア教育とは？

IBは、「児童生徒が自身のまわりの世界のもつ複雑性を理解し、未来のために責任のある行動をとるために必要なスキルと性質を身につけられるような教育を提供」*することを目的とした国際的な教育プログラムです。また、「学問領域、文化、国家、地理的な境界を越え、また批判的な取り組みを重視することで、新しい発想や有意義な関係の構築を刺激するような教育」*を提供しています。教員には「専門的な研修機会」*があり、質の高い教育が支えられています。現在、IBは「世界160の国・地域で6100校以上」*に導入されており、日本でも公立・私立を問わず広がりを見せています。
(出典：*IB機構『国際バカロレア(IB)の教育とは』 **IB機構公式サイト)

プログラム名	対象年齢	主な対象
Primary Years Programme	3～12歳	幼保施設、小学校
Middle Years Programme	11～16歳	中学校
Diploma Programme	16～19歳	高等学校
Career-related Programme	16～19歳	高等学校

（IB機構公式サイトの情報を元にコンソーシアム事務局が作成）

文部科学省がIB教育を推進する理由

グローバル人材の育成

多様な価値観への理解を深めるとともに、探究スキルや課題発見・解決力、コミュニケーション能力を養います。AIなどの技術革新や将来の社会課題に対応するため、「対話と探究」を重視した学びを通じて、国際社会で求められる力を育成します。

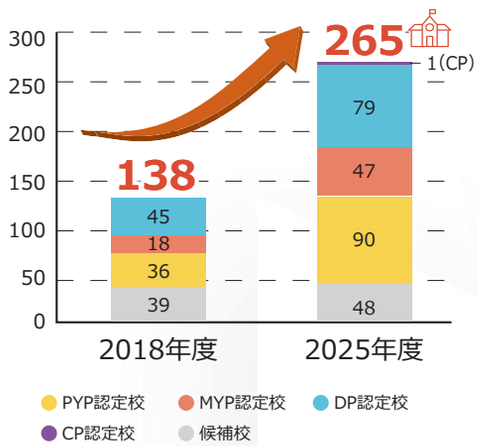
初等中等教育の好事例を形成

子どもが自ら考え、主体的に学ぶ力を育てる探究を基盤とした学習に加え、物事を多角的にとらえ、深く考える「批判的思考力」を養います。「全人的な教育」を通じて学習者中心の学びを実現し、教科の枠を超え、実社会で活用できる力を育みます。

多様な進路選択

『自分は何者か』といった探究を通じて、自分の興味・関心や強みを見つめ直し、大学進学にとどまらず就職や企業等、将来の多様な選択肢に対応できる力を育みます。
高校レベルのDPでは世界で広く活用されているIB資格を取得可能です。

国内のIB認定校・候補校 推移



IBに関する情報はコンソーシアムウェブサイトへ

IBの基礎情報を発信

プログラムの概要、IB導入までのステップや、各種連絡窓口の紹介、教育効果、導入事例、インタビュー、最新ニュース等を掲載。



関連イベントの開催

教育関係者・生徒・保護者向けに、対面・オンラインで年数回開催（参加無料）し、実践事例や最新動向を紹介。



IB入試関連情報

海外大学進学情報のほか、IB入試を実施する国内大学の一覧（主な出願書類等を含む）を掲載。進路選びに活用できます。



教員求人情報

IB関連の求人・研修情報をWebで随時更新。掲載希望も受け付けています。



個別説明

IBの導入や運用の疑問にIB教員等が具体例を交えてアドバイスします。（裏面参照）



文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

https://ibconsortium.mext.go.jp/ https://ja-jp.facebook.com/mextib/ consortium.info@aobajapan.jp

Webサイトはこちら

地域・学校・大学等をつなぐコンソーシアムの支援

IB教育推進コンソーシアム会員登録のご案内



自治体・学校・大学関係者



日本におけるIB関係者とのネットワーク形成

特典

- ☑ 関係者別連絡会への参加（年間3回）
  2026年度開催予定日：5/24（日），9/9（水），2/18(木)
  小学校（PYP）・中学校（MYP）・高等学校（DP）教員、自治体関係者、大学教員、大学入試担当者など、多様な立場の参加者を対象に、課題の共有や事例紹介、情報交換、課題解決に向けた議論など、それぞれのニーズに応じた研修を実施
- ☑ イベントのアーカイブ動画を視聴可能
- ☑ イベント・教育情報をまとめたメルマガ受信

生徒・保護者



IB教育への理解を深める!

特典

- ☑ イベントのアーカイブ動画をいつでも視聴可能
- ☑ イベント・教育情報をまとめたメルマガ受信

登録無料

自治体関係者・学校教職員・大学関係者の皆様の登録はこちらから ➡ 団体会員

生徒・保護者の皆様の登録はこちらから ➡ 個人会員

自治体関係者・学校教職員・大学関係者 対象

お困りごと相談窓口
個別説明

IBプログラム導入や実践等に係るお困りごとはございませんか。
その分野で知見のある担当者が個別にお答えします。
（online/対面可）

- ☑ IB導入のプロセスや必要な費用は？
- ☑ IB教員の採用方法は？
- ☑ 学習指導要領との整合性を踏まえた事例を教えてほしい！
- ☑ 地域とのより良い連携をするには？

個別説明お申込み▶

『個別相談』お申し込み手順

STEP1 **お申込み**
フォームから相談内容を送信

STEP2 **マッチング**
ご相談内容に応じ最適な担当者を選定

STEP3 **日程調整**
事務局より、ご面談の日時についてご連絡

STEP4 **個別説明**
（オンラインまたは対面）

Pick up 現場の声から見えるIBの魅力

IB校教員の声

教員は学びの伴走者

公立高校（DP校）教員
Y・S先生

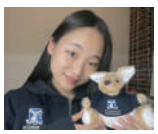


教員があえて議論の外で見守ることで、生徒は主体的に考え、意見を交わし、本質を見出すようになりました。IBカリキュラムを通し、机上学習を超え、生徒が学校外で活動を広げる姿を目の当たりにし、地域と協働し責任を果たす姿に感動しました。
IBに携わるまでは，教員は牽引していく立場という意識がありましたが，今は一緒にゴールに向かっていく伴走者のような意識に変わりました。

IB修了生の声

海外大学へ、IBで育んだ挑戦する力

MYP/DP校 修了 A・Sさん



先生も一緒に議論するIBDPの授業は本当に楽しく、毎回新しい発見がありました。エッセイやプレゼンを通して、自分の考えを相手に伝える力が自然と身についたと思います。また、計画・実行・振り返りを繰り返す学びの中で、問題解決に向けた考え方や行動力も養われました。
IBでの学びは、これからの人生でもきっと役立つと感じています。

文部科学省

文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-18-23
050-3488-7009
consortium.info@aobajapan.jp
ibconsortium.mext.go.jp
IBコンソーシアム 検索

IBの魅力を動画でチェック！